

1	(1) 591	(2) 725	(3) 34	(4) 39
	(5) 352	(6) 67	(7) 100 (cm)	(8) 38 (か月)
	(9) 132 (分後)	(10) 8 (回)	(11) 6 (人)	(12) (6月) 19 (日)

2	(1) 7 箱	(2) 8 箱	(3) 6 箱
---	---------	---------	---------

3	(1) 20 人	(2) 3 人
---	----------	---------

4	(1) 4 (回)	(2) 1 (回)	(3) 24 リットル
---	-----------	-----------	-------------

5	(1) 14 (cm)	(2) 16 (cm)
---	-------------	-------------

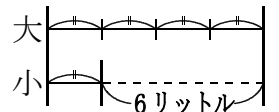
(配点) 1 ; 各5点×12    他 ; 各4点×10

- 1 (5)  $55 + \square = 407$   
 $\square = 407 - 55 = \underline{352}$
- (6)  $109 - \square + 47 = 89$   
 $109 - \square = 89 - 47 = 42$   
 $\square = 109 - 42 = \underline{67}$
- (7)  $2000\text{mm} = 2\text{m}$   
 $3\text{m} - 2\text{m} = 1\text{m} \rightarrow \underline{100\text{cm}}$
- (8) 1年は12か月。  
 $12 + 12 + 12 + 2 = \underline{38}$  (か月)
- (9) 午後1時23分は、午前13時23分と考えられる。  
 午前13時23分 - 午前11時11分  
 $= 2\text{時間}12\text{分}$   
 $\rightarrow 60 + 60 + 12 = \underline{132}$  (分後)
- (10)  $7 \times 7 = 49$  (日)より、7週間で49日。  
 あと  $50 - 49 = 1$  (日)あり、これが木曜日になればよい。7週間に木曜日は7回あるので、  
 $7 + 1 = \underline{8}$  (回)
- (11) 「男女女」の3人のくりかえしになる。  
 $18 = 3 \times 6$ より、男の子は  $1 \times 6 = \underline{6}$  (人)
- (12)  $500 = 10 \times 50$ より、  
 ちょ金するのは50日間。  
 5月全部で、31日間。  $50 - 31 = 19$  (日間)  
 6月に入って19日間なので、6月 19日。

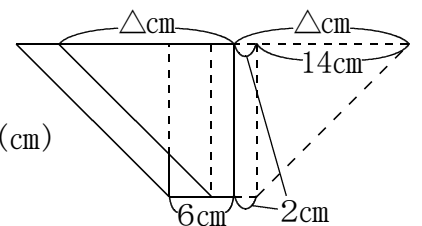
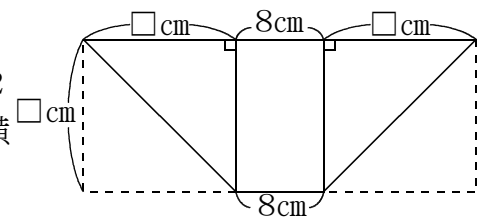
- 2 (1)  $5 \times 2 = 10$  (ドル)  $60 - 10 = 50$  (ドル)  
 $50 = 10 \times 5$ より、チョコレートは5箱。  
 お土産は、  $2 + 5 = \underline{7}$  (箱)
- (2) キャンディとチョコレートを1箱ずつまとめて買うと考える。  
 $5 + 10 = 15$  (ドル)  
 $15 + 15 + 15 + 15 = 60$  (ドル)より、  
 4箱ずつ買えばよい。  
 $4 + 4 = \underline{8}$  (箱)
- (3)  $10 \times 1 = 5 \times 2$ より、  
 チョコレート1箱はキャンディ2箱と同じ代金。  
 1回とりかえると、お土産が1箱ふえる。  
 $60 = 10 \times 6$  すべてチョコレートだと、  
 $9 - 6 = 3$  (箱)足りない。  
 $3 = 1 \times 3$ より、3回とりかえればよい。  
 チョコレート3箱をキャンディ6箱にとりかえる。  
 よって、キャンディは 6箱。

- 3 (1)  $13 + 17 + 10 = 40$  (こ)…玉の数  
 子ども1人あたり2この玉を取る。  
 $40 = 2 \times 20$ より、子どもは 20人。
- (2) 赤と白の玉を取るか、赤と青の玉を取るか、  
 白と青の玉を取るかのどれか。  
 赤と青の玉を取る人は、白の玉をとらなかった人と考えることができる。  
 よって、  $20 - 17 = \underline{3}$  (人)
- (別解) 赤い玉を取る人は13人。  
 さらに白い玉を取る人は、青い玉を取る人よりも  
 $17 - 10 = 7$  (人)多い。  
 よって、  $13 - 7 = 6$   $6 \div 2 = \underline{3}$  (人)

- 4 (1) 大1回と小2回で水そうの半分まで水が入る。  
 よって、大2回と小4回なら水そういっぱいに入水が入る。
- (2) (1)から、大+大+小+小+小+小=大+大+大  
 よって、小+小+小+小=大  
 小4回は、大1回と同じ量。
- (3) 右の図のようになる。  
 3めもりが、6リットル。  
 $6 = 2 \times 3$ より、  
 1めもりは2リットル。  
 $2 \times 4 = 8$  (リットル)…大バケツ1回分  
 $8 \times 3 = \underline{24}$  (リットル)…水そうに入る水の量



- 5 (1)  $1\text{m} = 100\text{cm}$   
 $100 = 50 \times 2$   
 よって、たてと横の長さの合計は、  
 $50\text{cm}$ 。  
 右上の図から、  $\square + \square + \square + 8 = 50$  (cm)  
 $50 - 8 = 42$  (cm)  
 $42 = 14 + 14 + 14$ より、  $\square$ は 14cm。
- (2)  $8 - 6 = 2$  (cm)  
 右の図から、  
 $\triangle = 2 + 14 = \underline{16}$  (cm)



(配点) 1 ; 各5点×12 他 ; 各4点×10